

### 第3回商工観光専門委員会での主な意見

#### (雇用)

- ・「早期離職者」や「Uターン希望者」の文言が追加され、わかりやすくなったので、この通り実行していただければよい。

#### (高等教育機関)

- ・四つの高等教育機関の存在を知ってもらうためにも、具体名を入れてはどうか。

#### (産業振興)

- ・アベノミクスの第三の矢として、昨年末に補正予算と26年度の当初予算がまとまっており、このような経済対策の支援施策をうまく活用するのも大事。
- ・3Dプリンターを使って小さなマスコットを作り、それをおみやげとして売る事例があるように、ベンチャー企業よりももっと手前の起業をサポートすると新しい活力のある会社も生み出されてくるのではないかと。

#### (魅力ある個店・商店街づくり)

- ・「主な施策」の②「商工会等関係団体との連携」に商工会議所を加える、または商工団体としてはどうか。

#### (商店街の活性化)

- ・商業関係について、方向性などはよく取り上げられている。あとはどれだけ実行していくか、商店街自身にもかかっているのだから、行政と一緒に取り組んで努力していきたい。
- ・今の世代の人たちは店の場所が分からない人も多く、イベントをいろいろ設けて、人が集まるような感じの店づくり、商店街づくりをみんなで考えていきたい。

#### (多様な観光ニーズを踏まえた誘客の促進)

- ・六十里越街道のもつ資産価値、歴史価値をもっと真剣に見つめ、評価してもらうためにも、条例により文化遺産に指定するなどし、街道保護のためマウンテンバイクの乗り入れを規制する必要がある。
- ・友達や夫婦での観光客も増えてきているため、手際よく行ける観光地情報に加え、そこが有名な理由、歴史的経緯などについても、商工会議所女性会の「おもてなし事業」で勉強会をしていきたい。

#### (温泉地や宿坊街)

- ・宿坊街のところは表現を細かく入れて良くなったが、温泉街についても、より具体的な地名を入れたらどうか。

- ・温泉街周辺の環境整備はありがたく思っているが、温海温泉では毎年旅館数が減っており、旅館経営に対しての支援も必要と感じている。

#### （観光客受入環境）

- ・「インバウンド」について、県内の二つの空港は海外からの観光客が乗り入れできない状況になっているので、増加傾向の外国人観光客を迎え入れるには、玄関口にあたる空港整備が欠かせない重要な課題であるということを文言として入れてはどうか。また、インバウンドにさらに傾注するため、庄内空港の滑走路の延長をしていただきたい。
- ・外国人が庄内空港や鶴岡駅で一人になると、誰も周りに英語でサポートする人がおらず迷子になってしまうため、玄関口である空港や駅には英語での最低限の情報が必要。
- ・旅館によっては外国人の宿泊を受け付けないところも結構あるが、チェックインのときに言う簡単なやりとりなど一定の言うべき項目は決まっていると思うので、最低限のガイドラインを日本語と英語で作っておくなどして、受け入れる体制を整えてほしい。
- ・外国人の方は宗教の関係で豚肉ダメとか、ベジタリアンの方とか、ベジタリアンの方でも卵はOKとか、いろんな段階の方がいるため、そういった方がどこに行けばいいのかという情報が一元化されたところがあるとよい。
- ・英語が好きな市民や生徒・学生をボランティアまたはアルバイトとしてポイント・ポイントに配置し、外国人が困ったら助けられる仕組みを市民と連携してできないか。
- ・都会から来る人は、交通手段も分からない人が多いため、天候によって一番確実な方法は何かなども含め、外から来る人の目で見て、ゼロから分かりやすい情報を、ホームページ等でまとめて提供してほしい。また、たとえば駅の周辺など、どこかポイントに行けばそういった情報が得られるようにしてほしい。
- ・今年6月に国内外から500人以上が集まる国際メタボローム学会という、慶應先端研始まって以来最大規模のイベントが予定されており、慶應先端研でも外国人が楽しめる仕組みづくりを検討しているところだが、山形DCとも連携していきたいし、慶應先端研に来る交流人口にも配慮していただきたい。

#### （観光振興全般）

- ・観光文化都市を成長戦略として位置づけているが、どのくらい観光に力が入っているか、これからここに力を入れていくのだというのがいまいち全体的に浸透していないように感じる。

#### （特産品の育成と物産展の充実）

- ・物産にも力を入れていかななくてはいけない。

#### （多文化共生・市役所窓口）

- ・慶應大学では1ヵ月～半年間だけ籍を置き研究をする外国人がいるが、そういった方が

市役所で手続きしようとする、英語ができる人を連れてくるよう言われるが、外国人登録など外国人が必ずやらなければいけないことの部署には、せめて英語ができる人が常時いてほしい。

(イベント広報)

- ・慶應先端研には都会出身で縁もゆかりもなく住みついたという人が結構いるが、地元のイベント情報は意外と知らないことが多く、終わってから誰かの Facebook を見て、行けばよかったと思うことがあるので、週末の遊び情報や子どもが楽しめるイベント情報がまとまっているプラットフォームを整理していただきたい。